

2009年度 父母連第2回代表者会(6月)報告

2008年6月13日(土)

司会：中島 報告：高山 記録：阿部

【出席】

□保育園；19園 □保育部会：1名、栄養士3名 □父母連事務局：8名

【配布物】

- ①レジュメ ②父母連ニュース第2号(世帯分)
 - ③父母連アンケート記入用紙(世帯分) ④父母連アンケート集計用紙・自由意見用紙(各園1部)
 - ⑤集計入力用フロッピーディスク(1枚)
 - ⑥オリエンテーションレジュメ(家庭保育室整備計画概要/草加の保育・父母連・「代表者」について)
 - ⑦オリエンテーションレジュメ(08年度市長懇談会提出の要望書に対する「市の回答書」の概要報告)
 - ⑧待機児童対策についての陳情書(案) ⑨市長選挙候補者アンケート
 - ⑩技能員の外部委託・栄養士・安定した職員確保の問題について
- ※ドラえもんサマー映画会のチラシ

1. オリエンテーション *オリエンテーションレジュメを参照

- (1) 草加の保育・父母連・「代表者」について(担当：中島)
- (2) 家庭保育室整備計画(素案)について(担当：阿部)
- (3) 草加の保育の置かれている現状と課題～技能員の外部委託・栄養士削減問題について(担当：阿部)
～栄養士さんのご紹介とお話～

栄養士Aさん：しのは保とやはた保をかけもちしている。退職栄養があったが、この4月に4名の栄養士が採用され、2名が足りない状態となった。しのは保とさかえ保の栄養士が他園をかけもちすることになった。

「なぜ栄養士が必要なのか？」の文書を市に提出を求められたため、栄養士として、昨年度市に文書を提出した後、栄養士が削減されず、無事に採用される運びとなった。

2園のかけもちは大変であるが、週に2日はしんえい保に出向き、現場と連絡をとっている。その他は自園に栄養士として勤務している。栄養士だが、午前中は調理師の仕事を行い、10:30には給食ができあがるので、その後事務所で事務仕事を行っている。おやつは毎日手作りなので、毎日調理師への指導も行っている。

※この4月から新たに採用された4名の栄養士のうち、しんえい保の栄養士1名が体調を崩し退職した。その後、やはた保に新たに栄養士が採用されたが、しんえい保の栄養士がいないため、やはた保の新栄養士がしんえい保に移ることとなる予定。

栄養士Bさん：さかえ保とにしまち保をかけもちしている。栄養士がいなくなった分、調理師が2名入った。調理師の数は今まで通りだが、新しい方がいるので大変な面はある。さかえは120定員、離乳食9人、アレルギー食もあり、それらへの対応が大変である。新しい調理師への指導もある。かけもちの場合には、現場に栄養士が入っていないので、直接調理師に伝えられない、親とのコミュニケーションが少なくなる、などの問題点がある。にしまちにもアレルギー食のケースもあるが、親とやりとりしながら対応している。とにかく4月は、2園の間を行ったり来たりが多かった。試食アンケートでは、評価が高く、良かったと思う。かけもちになった分、事務的な仕事などの家への持ち帰りが増えた。

栄養士Cさん：2園かけもちではなく、きたうら保育園のみを担当している。先ほど2名のかけもち栄養士が話されたが、実際には本当に大変だと思う。きたうらの場合は、産休明け保育も行っているため、離乳食は、2段階の裏ごしをかけている。準備段階でも、生後3か月から預かっているので、ミルクを作って赤ちゃんの様子を見て、煮てミキサーにかけて、裏ごしにかけて・・・と毎日子供の様子や保育士さんと連絡を取り、日々対応しながら作っている。アレルギー食の場合、同じ材料を同じ週に2回使えない場合もある。できるだけ給食と見た目が変わらないように、アレルギー食で努力して作っている。それらも、栄養士が調理場で説明したり指導したりするから、調理師が対応できるのである。みそ汁も2種類調整して作っている。より良い給食を！ということで、努力している。事務仕事は家に帰って行う

ことが多い。市の職員との勉強もある。ストレスもあるので、やめたい・・・と思うこともあるが、子供たちのおいしそうに食べる顔を励みに頑張っている。保育士さんも本当に個々の子どもに対応して頑張っている。栄養士がいるのか、いないのかで、給食調理は大分違って来る。万が一委託になった場合には、外部委託の栄養士と、市職員としての栄養士との思いは違うと思う。現在、草加市保育園の正規栄養士は私と他1名の2名しかいなくなってしまった。

質問：栄養士削減の方針を検討していきたいとの話が、この4月の市の保育事業説明会にてあったが、それらの話は聞いていますか。

3名の栄養士さん：今後の栄養士削減の話も聞いていない。この4月からのかけもちがわかったのも、3月25日にはじめてわかった。今後の市の方針についても、全く聞いていない。

質問：昨年度、「栄養士の必要性」についての文書を市に提出されたようですが、内容について教えてください。

栄養士Aさん：栄養士の必要性については、まずは各園に1名いることで、日々のアレルギー対応や離乳食・体調などに細やかに対応できることである。また、地域に根差していることで、親子クッキングとかもやってきた。保育園だけの子供だけではなく、地域の食育にもかかわっている。市の取り組みとしての保育展でも給食を通した食育を広めている。今年度に向けて退職枠の栄養士分を新たに採用してもらったが、結果的に足りなかったのは残念である。どの園をかけもちにさせるか、の判断はよくわからないが、以前やはた保にいたため、しのは保とのかけもちになったのだと思う。

栄養士Bさん：他市の場合は、栄養士は保育園ではなく役所の中において、統一献立をしているところが多いようだ。その場合は、正規職員の調理師が園に1名はいる。今後の運動の方向性として、もし栄養士を減らすのであれば、現場に必ず正規職員の調理師さんを配置してもらうなどの改善が必要である。

栄養士Cさん：栄養士が保育園にいない、ということは、子供たちの実態を知らなくて給食の献立を作っていくことと同じである。そのような自治体は、おかげで草加市より1品少ない。万が一給食が民間委託になると、冷凍食品を使うことが多くなると思う。人件費は、民間委託になると、市の予算から消えてしまうが、実際には諸々の事情により、市の経費が高くてついでしまう現実がある（草加市の中学校給食の民間委託の例から）。今の食事情は、ひき肉をブロックに固めてステーキのような人工的な肉を作ることでもできる。そのようなものの使用が、日本の場合には規制が甘く、他の先進国と違い、使用されている危険な現状がある。このような情報も考慮し、よりよい安全でおいしい給食を提供できるよう、日々努力している。

参加者より質問：東京都で栄養士を行っているが、足立区は給食が民間委託している現状がある。都の給食と違い、草加市の保育園の給食はとてもおいしく、味が全然違う。魚肉ソーセージなどの加工肉やミックスベジタブルも使っていない。足立区などは、味付けも本当に調味料を計って味付けをしているのか、疑問がある。とにかく草加市保育園の給食は、食材からして足立区とは異なり、おいしい。

栄養士：草加市の場合には、地元の八百屋・魚屋から仕入れて作っている。食材は量販店からではなく、小売店から購入しているため、おいしい新鮮な食材を用いて給食を作っている。

保育部会：小泉内閣による構造改革の推進等により、規制緩和が進み、4割はパート職員で良い、～など、公立保育所が攻撃を受けている。臨時職員は退職金もなく、6か月契約で働いているなど、不安定な身分である。賃金も低く将来的に安定がないため、職員が安定して確保できない面があり、1年間に何度も担当が変わったり、看護師や栄養士が集まらないなどの現状がある。保育士の産休代替もなかなか見つからない現状もある。パンフレット（「公的保育制度を活かして」）にあるように、厚生労働省少子化対策部会提案による「新制度」では、直接契約制度・応益負担などの制度変更がある。2009年4月に保育園に入れない子供が、196人5月で260人の待機児である。今後、新制度が実現すると、市は要保育度を評価するだけで、保育園に入れるか？どうかは、個々人の責任になってしまうなどの制度改善が提案されている。今は、収入に関係なく充実した保育を受けられることができるが、安かろう悪かろうの保育になっていってしまう、危惧がある。今後、保育者－保護者とで皆で勉強し、運動していきたい。

(4) 待機児童解消のための定員弾力化について（担当：高山）

- ・ 4月24日の「保育事業説明会」にて市から説明があった。
- ・ 市としては「おおむね20～25%定員の弾力化」を行いたいとのこと。

- ・背景には、経済危機に伴う働きたいという父母が増え、待機児が増えていることがある。
- ・父母連としては安全管理の面からも、保育の質を維持するという面からも賛成できない。
- ・待機児解消はあくまで保育園の新設で行うべき。
- ・旧あずま保育園舎の有効利用等を検討してもらえよう訴えていく。

2. 報告事項

(1) 父母連としての活動報告

- 5/17 (日)「第1回代表者会」 勤労福祉会館 第1会議室にて
- 5/17 (日)「第24回草加市保育園父母会連合会総会」 勤労福祉会館 ホールにて
- 5/30 (日)「父母連事務局会」 谷塚市民活動センター 交流スペースにて
- 6/11 (木) 印刷作業 (父母連ニュース&父母連アンケート記入用紙など)

***あさひ父母会より、お手伝いの方3名が参加してくださいました。ありがとうございました！**

- 6/13 (土)「第2回代表者会」 草加市文化会館 レセプションルームにて
- 6/13 (土)「第1回会長会」 草加市文化会館 第1第2研修室にて

(2) 2008年度父母連アンケートの実施について *父母連アンケートなど参照

各父母会で父母連アンケート記入用紙を各世帯に配布し、回収後、集計をお願いします。

回収率が低いと、アンケート実施の意味が薄れてしまいますので、お忙しい中申し訳ございませんが、**各父母会で回収率を高めていただく工夫をお願いします。**

※<集計方法について>

回収世帯数/全世帯数 を記載の上、集計用紙に「手書きで集計」していただくか、フロッピーディスクに入っている「エクセル書式の集計用紙への入力」をお願いいたします。

記述式回答部分につきましては、手書きではなく、必ずフロッピーディスクに入っている「ワード書式への入力」をお願いいたします。集計済み用紙やフロッピーディスクの提出は、7/11(土)の第3回代表者会の際にお願いします。**どうぞよろしく願いいたします！**

***ExcelとWordの書式は父母連ホームページからも引き出せます！** <http://www.soka-fuboren.org>

(3) 4/25 (金) 草加市保育事業説明会の報告 *父母連ニュースを参照

(4) 「ちいさいなかま」の購読について

楽しくアイデアいっぱいの子育て、保育情勢や社会の動きなどにも強くなれる、子育てや生活の視点が変わります…みんなで購読しましょう！！購読料の一部が父母の活動に還元されます★

3. 協議事項

(1) 2008年度代表者連絡網について

代表者の皆さんのご要望により、今年度も父母連事務局からのメール一斉送信で、連絡網をまわしたいと思いますが、いかがでしょうか？

*例年各園に配布しています

*父母連事務局からのメールが受信拒否になってしまう方は、メールフィルターの「アドレス指定受信」の設定をお願いします。ドメイン指定で「@soka-fuboren.org」を受信できるようにしてください。

(2) 待機児童対策についての陳情書提出について ※資料参照

草加市は4月24日の「保育事業説明会」にて、緊急の待機児童対策としての「定員の弾力化」を進めていくことを明言。他自治体での取組みを例に挙げ、「なりふりかまわず」行う、としています。

⇒定員の弾力化に際しては、国の最低基準（一人あたりの面積、保育士配置）を遵守するとしているが、そもそも国の最低基準自体が現在の保育ニーズや実態に即していないものである（資料参照）。

⇒父母連としては、待機児童対策はあくまで保育園の新設によって行われるべきと考えるが、緊急の対策としては、6月から使用されなくなった旧あずま保育園舎を利用することが望ましいと考えている。

⇒陳情として市長に提出していく方針について、みなさんのご意見をお聞きしたい（議会への陳情は議会が来週にも閉会してしまうため難しい）。

(3) 市長選挙に向けて、立候補予定者へのアンケート実施について ※資料参照

前回の市長選挙（2005.7.24）の際にも、立候補予定者に対して子育て政策に関するアンケートを行った。その結果を選挙前に父母連会員に周知し、情報提供することが目的。私たち父母連としては、立候補予定者がどのような保育政策・子育て支援政策をもっているか、待機児問題や家庭保育室整備計画等についてどのように考えているかを知ることができる、非常に貴重な機会となります。

⇒6月下旬に郵送し、選挙前までには集計結果を全世帯に配布したいと考えています。

(4) その他

4. 各園の父母会より

せざき副会長：完全給食を行うとしたら、どのような課題がありますか。

栄養士：設備や調理室の広さ的に難しい面がある。

5. 今後の予定

- ・6月23日(火)19:00～「民主教育をすすめる草加市民会議 担当者会」勤労福祉会館 第5会議室
- ・6月末「父母連事務局会」
- ・7月9日(木)19:30～「父母連ニュースなどの印刷作業予定」草加文化会館 ワーキングルームにて
→あおやぎさん、お手伝い園
- ・7月11日(土)10:00～12:00「第3回代表者会」草加市民体育館 第1会議室にて